

社会福祉法人 岩手ひだまり会広報誌

ひだまり

2017.6
Vol.9



春の陽気に誘われて！

公園にドライブ



ひだまり水沢駅東

就任挨拶

「人に尽くし、人に学び、人に感謝せよ」の心で



社会福祉法人岩手ひだまり会
常務理事 大沼 一裕

平成二十九年三月三十一日から千葉正男常務理事の後任として就任しました、大沼一裕です。

私は、当法人にお世話になるまで、特別養護老人ホームに三年間勤務していました。今、福祉制度は大きなうねりの中で翻弄されています。しかし基本は、いつの世でも人です。当法人の理念である「人に尽くし、人に学び、人に感謝せよ」は、まさに福祉のみならず人が生きていくための社会の基本原則であると考えます。

理念や原則を貫く姿勢こそが今の世の中には必要なことであり、その原則に立ちながら、当法人も歩みを進めてきたものと思えます。今秋には、奥州市の協力のもと、胆沢総合支所内に事業所を開設すべく準備を進めています。

当法人の運営には、保護者の方々の御協力が不可欠です。職員と保護者の方々が車の両輪のような関係になることが、より良い支援につながるものと信じて、潤滑油の役割を果たせればと願っています。

◆岩手ひだまり会役員等の紹介◆

評議員会

(任期平成二十九年四月一日から平成三十三年定時評議員会の終結の時まで)

評議員	小澤 盛彌 (再任)
評議員	鎌田 卓也 (再任)
評議員	古川 守人 (再任)
評議員	千葉 光夫 (再任)
評議員	島津 愛郎 (新任)
評議員	千田 光久 (新任)
評議員	岩淵 秀夫 (新任)
評議員	菊池 恵美子 (新任)

理事会

(任期平成二十九年六月二十日から平成三十一年定時評議員会の終結の時まで)

理事長	高橋 洋子 (再任)
常務理事	大沼 一裕 (再任)
理事	向山 晃 (再任)
理事	菅原 憲雄 (再任)
理事	伊藤 恵美 (再任)
理事	尾山 恒夫 (再任)
理事	千葉 昭好 (新任)
監事	大谷 直子 (再任)
監事	松本 辰男 (再任)

苦情解決委員会

(任期平成二十九年四月一日から平成三十一年三月三十一日)

第三者委員	小原 敏和 (新任)
第三者委員	千葉 栄 (新任)

法人本部

障がい・世代に関係なく
安心して暮らせる地域づくりへ

法人本部は奥州市・北上市において九拠点、社会福祉・公益事業と併せて二十一事業を統括する部署です。各事業所間の連絡調整はもとより、法人全体の運営を行っています。理事長・常務は本部にて全体運営を司り、各事務においては総務課・財務課においての運営と各事業所のバックアップ役として日々業務に取り組んでいます。

本部は直接支援ではありませんが、「ひだまり」に通ってくる子供たちや成人の方々がいて、その先にはご家族がいる。この方々へ常に目を向けて業務に取り組むようにしています。

現在、主事業である放課後等デイは、全国的に増加傾向にあり、その質が大きく問われています。職員の資格要件も厳格化され、今後サービスの質の向上はもとより、これまで以上に人材育成と環境整備に力を入れていかなければなりません。

さて、このページ以降に各事業所の紹介をさせていただきます。どうぞ皆さんご覧いただき本部と同様に温かいご支援・ご指導のほどよろしくお願いいたします。

ひだまり江刺桜木



一人ひとりを尊重し 可能性を信じる取り組み

ひだまり江刺桜木は、NPO法人
地域ふれあいステーションひだま
りの時代から第一の事業所として
開所し、平成二十六年に現在の場
所に移転しております。

運営目標とし「よい笑顔、よい言
葉、よい心一人ひとりを尊重し可能
性を信じる」を、スローガンに利用
者の方々を尊重し自己肯定感を高
められるよう一人ひとりの強みを
活かした支援に心掛けていきたい
と考えています。

よう丁寧な関わりをしていきます。

活動では、様々な体験や取り組みが出来るように日々職員で工夫や提案をしていきます。今年度は、買い物支援や外出の活動にも力を入れていきたいと考えております。

保護者の方々からも
活発な意見が得られる
環境作りに取り組んで
行きたいと考え、午前
中は、保護者の方が気
軽にお茶をしながらお
話を出来る時間を設け
ますので是非、お声掛
け下さい。



ハイ
ピース!

胆沢ダム見学



お弁当を買いに行こう

ひだまり江刺岩谷堂



みんなの笑顔に向かって 喜び合える支援活動を

今年度、ひだまり江刺岩谷堂
は児童課の登録者は新規利用者
四名を迎え二十五名、就労課は、
三名でスタートしています。

また、「ひとつひとつを確実に
みんなの笑顔にむかって」
を今年度からの事業所の運営目
標とし、ご利用頂いている利用
者やそのご家族と共に喜び合え
る支援を目指していきたいと考
えています。

児童課では年齢や成長に合わ
せた活動の導入を検討し、様々
な経験が出来るよう計画してい
きたいと思っています。日々の
生活の中では個々の関わりを大
切に皆さまの成長をお手伝いさ
せて頂きます。

就労課は主に野菜の袋詰め作業を行なっていますが、玉ねぎ、シ
ヤガイモにさつまいもを加え三種類の野菜を袋詰めしています。

実習生や体験者の受け入れをし、働く仲間を増やしていくよう
努めていきます。また、新しい作業の導入を検討していきたいと考
えています。

興味のある
方は、ぜひ見
学にいらし
て下さい。



ひだまり江刺第二桜木



利用者・職員が 成長できる一年に

ひだまり江刺第二桜木は、中高生対象の事業所として開所して二年目を迎えました。運営目標に四点をあげ、利用者・職員共に成長の一年にしたいと考えております。

- 一、励まされて育つと自信を持つようになる。
- 二、褒められて育つと人に感謝するようになる。
- 三、存在を認められて育つと自分が好きになる。
- 四、努力を認められて育つと目標を持つようになる。

日中一時支援では、社会人である利用者さんに尊敬をもって関わりを持つようにしております。



横笛制作



微細運動



マナーについて
実践へ繋げる



パソコン操作



水沢地区事業所合同の資源
回収活動・・・お疲れでした



ひだまり水沢森下

「安心、安全、信頼」の 環境づくりを目指して

当事業所は放課後等デイサービスと生活介護事業を行っている多機能型事業所です。勿論活動の場所は一階が生活介護として、二階が児童としてそれぞれ活動しております。一階で過ごしている生活介護の利用者さん達は、天井が落ちてくるのではないかと思えるほどの、子供達の元気すぎる活動の様子にあきれかえったり、時にはうらやましがったり…。

今年度からの目標(モットー)として、「安心、安全、信頼」を掲げました。そして、これからも皆さんがゆつくり、のんびり、楽しく過ごせる環境づくりを目指します。



生活課芸術祭参加作品

ひだまり水沢駅東

笑顔があふれ信頼される 環境づくりを目指して

当事業所は、平成二十三年に「第二ひだまり水沢」として東大通りに開所し、営業しておりますが、平成二十九年四月に台町に移転いたしました。より広くなった場所を活かしながら活動内容の充実・拡大に努めます。

運営目標として『心の声に耳を傾け、サインに気付く、あふれる笑顔』をスローガンに、利用者さん一人ひとりに寄り添った個別支援ができるよう心掛けております。特に、日常生活における基本動作、コミュニケーションスキルの習得を始め、個々の良さを認めながら、興味のあること、得意なことにも取り組めるよう配慮し、利用者さんが楽しく居心地よく過ごせる場所を作れるよう心掛けております。自立に向けた支援を基本として、活動を楽しむに來所して頂けるような内容を取り入れていきたいと考えております。

今後とも、保護者さんと情報を共有し、また関係機関と緊密な連携をはかり、信頼される事業所を目指していきたいと思えます。

感謝の気持ちで 信頼される 事業所づくりを

ひだまり 水沢横町

当事業所は、平成二十五年九月に「第三ひだまり水沢」として、水沢区横町に開所しました。平成二十七年四月にNPO法人地域ふれあいステーションひだまりから社会福祉法人岩手ひだまり会として法人認可を受け、「ひだまり水沢横町」として新たに事業運営を開始致しました。現在、二十七名の利用者の支えになるべく、スタッフ一丸となって支援しております。

事業計画の重点項目

○信頼される事業所として

・事業所の目的を尊重し感謝の気持ちをもち、互いに切磋琢磨し専門職員として資質向上を図ります。

・法人理念に従い、質の高いサービスの提供と情報収集に努め、保護者との情報共有を大切にしていきます。

・利用者の希望と保護者の願いを聞き取り、個々に沿った個別支援と成長に合わせた支援に努めます。

・利用者・保護者・職員が気軽に参加できる交流の場で、理解を深めていきます。

○具体的な取り組み

・個別支援計画に基づいた適切なサービスの提供。

・懇談会で、保護者と職員の連携を強化し、安心・安全なサービス提供に努めます。

・虐待防止意識を高め、人権擁護に努めます。

・職場研修を実施し、自己研鑽に努めます。



利用者さんの ニーズに応える活動を

ひだまり北上中央 相談支援事業所ひだまり北上



《スローガン》「むずかしいことをやさしく・やさしいことをふかく・ふかいことをおもしろく」
昨年四月に受け入れた十人を超える小学一年生の元気グループが、一年を経て大きく変化していることに気づきます。どのように支援すべきか思案に明け暮れていた日々が嘘のようです。利用者さんの成長は事業所の支援の成果だと胸を張るほど厚顔ではありませんが、ひだまり北上中央で過ごした時間が成長の糧になっているという手ごたえを感じます。北上市に開設して三年目を迎え、安定的に運営できる状態ができてきたところから、目標を高めて、この手ごたえをより確かなものにしたいと思います。

そのため、職員は、障がいを持つ子ども達の真の安心とは何かを考え、日常の活動、行事、会議、話し合いに「なぜ?どうして?どのように?」を意識して取り組む仕組みを考えていきます。「障がい」に主体的に関わる支援者・支援事業所となったときに地域の信頼を獲得できるものと考えます。

相談支援事業所ひだまり北上は、平成二十九年一月にひだまり北上中央内に開所し、ひだまり北上にこっとの新規利用者などを中心に相談と支援計画作成に携わってきました。今後、北上地区の障がい児・者のニーズに応えられるよう、北上市を始め関係機関・団体等と連携・協働しながら活動していきます。

ひだまり北上にこっと



利用者さんの笑顔と成長を 促す支援活動を

「笑・和・解・話・輪」(笑ってワ、解ってワツワ)をスローガンに、職員一人ひとりが業務に対する目標を明確に持って、新年度をスタートしております。

昨年十二月に開所して以来五月が経過しました。お陰様で三月・四月と職員を増員して、利用者さんに手厚いサービスを提供できる体制が整ってきました。

それと同時に、二十四名の方々から利用登録いただき、利用者さんの賑やかな声が響く活気ある事業所になってきました。五月の一日平均利用人数は六・七名でした。利用定員にはまだ余裕がある現状ですが、利用が十名を超す日も増えてきており、感謝に堪えません。

利用が増加してきていることから、今後の新たな課題も見えてきました。利用者さんの成長とニーズの把握を基本に、その変化に応じていくための環境(人物・物的)整備の必要性です。

職員一同、利用者さんの笑顔と成長を促す支援と業務に、やりがいとやる気と感謝の気持ちをもって携わっていきます。



相談支援事業所ひだまり

新たな二人体制で臨みます
よろしくお願いいたします



TEL0197-47-4234 FAX0197-47-4230

平成二十九年四月十六日に、ひだまり水沢横町から法人本部一階（旧ひだまり水沢駅東）へ移転・開所いたしました。

奥州市内外の就労施設の美味しい珈琲豆で作った淹れたての珈琲を飲みながら、皆さんと色々とお話をしていきたいと思っております。また、就労施設で作られた製品・作品を今後、展示していきたいと考えています。書籍も多数取り揃えております。お勧めしたい本がたくさんあります。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。

平成二十九年年度から、職員が一名配属になりました。認定心理士の資格を持っています。今後、色々な場面でお子さん達や保護者様とお会いいたします。

本年度は、新たな二人体制で臨みます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

お客様に綺麗な花だね!!
と言われると嬉しい

さとし
佐戸慶治さん(十八歳)



NPO法人地域ふれあいステーションひだまりに始まり、ひだまり江刺第二桜木まで十一年間通所し、今年三月前沢明峰支援学校高等部を卒業した佐戸慶治さん。現在は社会福祉法人愛護会フラワースセンターあいごで元気に働いています。学校の実習で色々な職場を訪問し、ここには二回実習に訪れました。体を動かすことが好きで、虫や生き物が好きな慶治さんは自然に囲まれた環境で働きたいとこの職場を選びました。

職場では、プランターの土づくりや、苗を植えたり、小中学校やZプラザアテルイ、金ヶ崎・桜屋敷のイオンなどに出荷する花卉の納品の補助を行なっています。

四月、五月、六月には、フラワースセンターあいご主催の、胆沢川温泉さくらの湯を特設会場にイベントも行われ、「買って頂いたお客様に綺麗な花だね!!と言われると嬉しいのできちんとお礼の挨拶をしていきたい。」と慶治さんは話していました。

保護者だより
多くの方と
交流を深めたい

ふじわらみか
藤原美輝さん



日頃からひだまりの職員、保護者会の皆様には大変お世話になり心から感謝申し上げます。昨年度から様々なイベントに参加し、子供との楽しい思い出作りができました。

ボウリング大会には、長男の友輝と二人で参加しました。友輝は前日から楽しみにしていて、当日は、張り切って投げ、笑顔の絶えない楽しい日になりました。

クリスマス会では、友輝はひだまり水沢横町の皆さんと一緒によさこいを踊りました。私は初めての仮装で、後ろの端で見よう見真似で踊っていると、友輝に見つけられ「ママ、すぐに分かったよ」と言われ嬉し恥ずかしい一日でした。

親だけの懇親会は、日々の疲れを発散でき大変有意義でした。参加された方々から色々な話を聞け、今後の参考になりました。ひだまりとご縁ができてまだ日が浅いですが、多くの方と交流を深めたいと思いますので、今後も宜しくお願いいたします。

コラム

「東京物語（二）」



広報・研修担当理事
向山 晃

それは四日目で発覚した。それも警察からの連絡で。グループホームの寮生がファミレスで無銭飲食(?)をした疑いだった。店に入った客がオーダーする事なく、店内の無料コーヒーを飲むとそのまま店を出ていったそう。それが三日も続くとさすがに四日目、交番に通報された。

K君は外見的に障がい者には見えず、しゃべりさえしなければ、重度障がい者にも見えず、京王線を利用して作業所に通所している人である。

事の発端は休日、家に帰って家族とこのファミレスで外食をした。そこでお母さんは「コーヒーは自由に飲んでいいのよ」と言ったそつだ。彼は、それを実行したにすぎないから堂々としているのも当たり前前で、店員が不思議に思わなかったのもその堂々さから当たり前と言える。

職員たちはここで一つ勉強した。この人たちの社会自立の指導は、原理、原則、約束ごとを教えることも大事だが、一つ一つの事例にそって教えていくものだとこのことを。つまり、具体的な個別指導が前提であることを改めて知ったのである。

K君、社会生活不適合者というわけではいが、同じようなことで交番に連れていかれた事を次回に紹介したいと思う。

もしかしたら、もう月日を経っているので、三回目もあったかもしれない。



編集後記

本年度は第九号からの発行です。新年度を迎え、各事業所の紹介を中心に掲載いたしました。

また、新たな企画として高校を卒業し社会人となった利用者さん・現在利用されている方々の保護者さんへのインタビューを掲載しました。

皆さんの笑顔を今後も紹介していきます。ご期待ください。(美濃川)

平成二十九年三月人事異動

- 法人本部
- 佐藤 海流 総務課主事補 新規採用
- ひだまり北上中央
- 千葉 香織 指導員 新規採用

平成二十九年四月人事異動

- ひだまり江刺桜木
- 渡邊 恵 所長兼児童発達支援管理責任者
- 佐藤 佐和子 指導員
- 前所属 ひだまり水沢森下
- 千田 香保里 保育士 新規採用
- 加山 菜々穂 保育士 新規採用
- ひだまり水沢森下 児童課
- 高橋 恵美子 保育士 新規採用
- 渡辺 美和 指導員 新規採用
- 菅原 幸枝 指導員
- 前所属 ひだまり江刺桜木
- ひだまり水沢森下 生活介護課
- 後藤 至 支援員
- 前所属 ひだまり江刺桜木
- ひだまり北上中央
- 菊池 璃咲 指導員 新規採用
- ひだまり北上にこっと
- 昆野 成子 指導員
- 前所属 ひだまり北上中央



15 mm 